



東京地区生コンクリート協同組合
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号
電話番号 (03) 3271-2181
URL: https://www.t-namakyō.jp/
発行責任者 高 村 尚

＝協組の動き＝

(2月)
9日(月) 理事会(No.1253)
24日(火) 理事会(No.1254)

(3月)
9日(月) 理事会(No.1255)
23日(月) 理事会(No.1256)

【東京都工組主催】

- ①労働安全セミナー
日時: 2月13日(金)
場所: 鉄鋼会館 (茅場町)
- ②共販・経営者セミナー
日時: 2月20日(金)
場所: 第一ホテル東京 (新橋)



(※2026年1月出荷実績は裏面に)

新年賀詞交歓会を開催

当協組は恒例の新年賀詞交歓会を1月6日(火)に都内のホテルにて開催いたしました。組合員各社代表及び登録販売店、セメントメーカー等の関係各社より約200名の方々にご出席いただきました。最初に主催者を代表して、森理事長から挨拶がありました。



2025年度はセメントや骨材、物流費等の価格上昇により4月より生コン定価を+3,000円の25,000円/m³とする価格改定をさせていただきました。あわせて完全週休2日制の導入、スライド表の改定、残コン・戻りコン・出荷キャンセルの料金改定も同時に行いましたが、需要家の皆さまのご理解をいただき順調に進んでいるところです。これはひとえに組合員はもとより登録販売店の皆さま、関係各社の皆さまのご協力のおかげです。この場をお借りしあらためて御礼申し上げます。

生コン価格について、2026年度は改定を見送り、2027年4月1日より1m³当り3,000円+αの値上げをさせていただきます。この+αにはセメントの値上げや世界情勢の大きな変動等は加味されていないため、それらが生じた場合は+αの部分に加算させていただく、ということです。また、通常であれば半年前の価格発表を1年半前に行いました。これは需要家の皆さまより施主様との交渉期間を設けたいという要望を受けたこと、そして我々組合員も自助努力をしなくてはならないということで、今回に限った対応であることをご理解願います。

生コン需要について、2025年度は270万m³と予想しておりましたが、工期や着工の遅延、作業員不足等があり240万m³程度にな

る見込みとなりました。2026年度においては再開工事が徐々に本格化することもあり、250万m³と予想しております。

このような状況のもと、本年の東京協組は以下の4つを重点課題として取り組んでまいります。

①出荷ベース契約の完全実施と2027年度の価格改定に向けた基礎作り

出荷ベースの契約は既に始まっていますが、しっかりと地盤を固めて2027年度の値上げに向けての基礎作りを着実に進めてまいります。

②安定供給の確保

価格改定や契約体系の変更をお願いしているからには高品質の生コンを安定供給するという使命のもと、運転手の確保、サプライチェーン全体との連携を図ります。また供給不安のある軽量骨材や超高強度コンクリート向けの硬質砂岩の情報については、アンテナを高くして情報を集め、協組としてできる限りのことをしてまいります。

③完全週休2日制の完全なる定着

生コン業界は高齢化しており若手の人材確保に苦慮しています。完全週休2日制の実施は若手獲得の第一歩であり、導入後の4月以降は求人に対する問い合わせ等が増え、一定の成果が出ている状況です。引き続き人材確保に努めてまいります。

④残コン、戻りコン、出荷キャンセルの削減

残コン・戻りコン削減を目的として昨年4月より料金を改定しましたが、残念ながら大きな削減には繋がっておりません。一方で産廃業者からは大幅な価格変更や受入制限のプレッシャーを受けているところです。需要家様への説明を通じて削減が積極的になるよう進めてまいります。

コストが高く需要が低迷するという大きな転換点の中、皆さまのご支援なしでは諸施策を実行していくことはできません。特に2027年度における価格改定については皆さまのご協力は必須です。相互の信頼、相互の共存、相互の理解を目指し、それを念頭に置きながら、サプライチェーン全体で底上げをしていく形で2026年を迎えたいと思います。

続いて来賓を代表してセメント協会の福嶋流通委員長よりご挨拶をいただきました。



【セメント協会流通委員長 福嶋 達雄様 (住友大阪セメント(株) 取締役常務執行役員)】

今年の干支は丙午(ひのえうま)です。以前は色々な迷信・風評が流布されていましたが、よくよく調べると丙午は「情熱と行動力に満ちた年」ということで「変革の年」とも言えます。我々の業界では今年を「挑戦と開拓の年」にしていきたいと思います。

「挑戦」について、GX-ETS(排出量取引制度)が本年4月より義務化されます。カーボンニュートラルに向けた取り組みは待たなしの状況で、セメント業界として工場での産廃等受入でより一層の熱量原単位の削減に取り組むとともに、皆さまへは低炭素セメントをはじめとするCO₂レスの商品の開発及び普及に取り組んでいきたいと考えています。

一方で、セメント業界は産廃物や副産物を原料及び熱原料として大量に受け入れており、2024年度は約2,200万トンを受けました。しかし業界では当然であるこの認識が残念ながら社会一般には知られていないという現状があります。セメント業界がどれだけ貢献しているかということあらためてPRしていくことが挑戦の一つだと思います。

「開拓」について、需要低迷に伴い前年割れが2025年11月末現在39カ月続き、

あと2カ月で最長記録の41ヶ月に並ぶという非常に深刻な状況です。働き方改革による労働時間の減少等があり2026年も需要面では危惧する年です。そのような中、東京都より「TOKYO 強靱化プロジェクト」が公表されています。2040年代の目指す到達点に向けて風水害や地震等から都民を守る施策で、環状7号線の地下調整池の整備・延長や河川のスーパー堤防化をはじめとするインフラ整備の取り組みが多数織り込まれています。何とか2040年代と言わずに迅速な事業執行をお願いしたいところです。

セメントと生コンは車の両輪であり、コンクリートが国民の命と生活を守る重要な構造物であることは変わりません。いつ災害が発生するか分からないためインフラ整備は迅速に行われる必要があります。セメント・生コン業界は厳しい状況ではありますが貢献できる部分は限りなくあると信じています。

その後、東京生コンクリート卸協同組合の高橋理事長より、以下の乾杯の御挨拶をいただきました。



【東京生コンクリート卸協同組合 理事長 高橋 真樹様】

昨年の東京協組は出荷ベース契約、3,000円/m³の値上げ、スライド改定を打ち出し、いずれも早期に浸透したと思います。また完全週休2日制の導入等、東京地区の業界として前進した1年であったと思います。

私ども販売店は現在、ゼネコン各社との契約について、出荷ベースを念頭に置いた内容に近づくようお願いをしつつ、2027年4月からの3,000円+αの値上げの説明をしているところです。

引き続き東京協組の皆さまと足並みを揃え本年が業界として前進する1年になるよう販売店として努めてまいりたいと思います。



我ら新人従業員



植木生コン(株)
金澤 伶香



令和7年度に、入社いたしました。普通科の高校を卒業したので、建築や生コンに関する知識は全くない状態でのスタートでしたが、工場長や先輩方にご指導いただきながら業務を行っています。毎日が新しい発見ばかりで、この仕事の奥深さを実感しています。

プライベートでは、昔から好きな読書やアニメ鑑賞に加え、最近始めたばかりのゴルフの練習のために打ちっぱなしに通って

リフレッシュしています。今はまだ知識も技術も足りない新米ではありますが、一日も早くベテランの皆さんに追いつけるように、教えていただいた事を確実に吸収し、日々の業務に活かしていきたいと思っています。

仕事も趣味も全力で一生懸命に取り組むことをモットーに、日々精進していきます。

城北小野田
レミコン(株)
杉本 瑞樹



2025年7月に入社しました杉本と申します。入社後半年が経過して原稿を執筆している今、夏の真っ只中に初めて見た生コンクリートがとても印象に残っています。あの頃の自分と比べてもまだまだコンクリートについてはわからないことばかりです。前職とはまた違った系統の業務であり覚えるべきことも多々ありますが、広範な知識を持つ先輩方から毎日刺激を受け、自

分も先輩達のようにになりたいという憧れを強く感じています。自分にとってわからないことばかりの生コンクリートですが、季節によっての変化は勿論のこと日によっても状態は異なるように感じています。それを面白いと感じる程の余裕にはまだまだ知識も経験も足りませんが、日々の業務を精一杯取り組んでいき、いち早く活躍していきたいよう精進していきます。

植木生コン(株)
福原 久延



わたしが転職をするときに某転職支援場所ですら探していたのですが、友達にそこでの職探しはやめた方がいいと止められました。他の方法で探していたところ、両親から自宅の基礎などは植木生コンにやっても良かったという話を聞き、勤務場所も近いのでまずは職場体験を受けてから考えることにしました。

職場体験を経験したところ、わたしが過去に仕事をしていたところよりも雰囲気が

良く、仕事の内容も初めのうちは大変だろうけど、覚えていけば慣れていくので植木生コンへ入社するに決まりました。

まだまだ不慣れなところはありますが、会社へ少しでも貢献できるようにわたしなりに努めています。

趣味はゲームと睡眠で、休日は仕事の疲れを翌週に出さないように家でゆっくりと休んでいます。

上陽レミコン(株)
石原 裕



以前、品質管理の業務に5年間従事しており、その経験を活かしたいと考え、上陽レミコン株式会社に入社いたしました。

同じ品質管理業務ではありますが、前職では主にデスクワークであったため、入社当初は体の疲労や筋肉痛と向き合う日々が続きました。

また、生コンクリートに関する知識が全くなかったことから、学ぶことばかりで「このままやっていけるのだろうか」と不

安に感じることもありました。

しかし、先輩方が皆優しく、丁寧に時間をかけてご指導くださったおかげで、現在はとても前向きに業務に取り組むことができています。

【今後の目標】

業務面では、コンクリート技士の取得。プライベートでは、競馬で帯をとること、15kgの減量を目指します。

内山コンクリート
工業(株)
山口 隆一



私は現在、生コンクリート工場で試験係として働き始めまもなく2年を迎えます。私の今後の目標はコンクリート技士の資格を取得することです。大学でコンクリートを学んでいたこともあり、来年度に受験資格を得ることができます。コンクリート技士の資格を取得することは私にとって今後長く続くであろう職業人生において通過

点という位置づけなので、1度目の資格試験で合格することを目指したいと考えています。資格を取得できた暁には着手できる業務の幅が今以上に広がるのが予想できるので、様々な経験を積み、会社のさらなる発展に貢献できるよう一層尽力していきたいと考えています。

東京
コンクリート(株)
米内 峻



この業界に入る前は建築の専門学校に通い、勉学に励んでいました。その頃、現在の会社で10日間のインターンシップを体験し、実際のコンクリートに触れ、多くの経験や知識を得ることができました。元々物作りが好きだったこともあり、生コンクリートの試験や、配合設計に深く触れたいと思ったことが、この業界を志すきっかけとなりました。

入社してまもなく1年が経とうとしています。入社当時は、学生から社会人へと立場が変わり、同時に実家を離れて一人暮ら

しを始めたことで新しい環境への不安と期待が入り混じった、複雑な気持ちだったことを覚えています。日々新しいことの連続で、仕事の面でも社会人としても覚えることが多く、目まぐるしい毎日を過ごしています。しかしその中で、出来ることが少しずつ増えていくことに喜びを感じています。

この気持ちを忘れず、これからも仕事での知識や技術を身につけ、早く一人前になれるように精進していきます。

関東宇部コン
クリート工業(株)
東 雄勢



私は2024年4月に関東宇部コンクリート工業(株) 豊洲工場に新卒で入社しました。生コンの知識が全くない状態での入社だったため、日々仕事を覚えることで精一杯でした。しかし頼りになる上司の方々のご指導によって、今ではのびのびと業務を全うすることができています。これからも期待に応えられるよう、見識を広め、スキルアップしていきたいと思っています。

仕事以外の時間では、オープンワールド系のアクションゲームや、ナンプレ・クロスワードといったパズルゲームをしてリフレッシュしています。特に頭を使って考えるゲームが好きで、失敗と成功を繰り返しながら進んでいくところに魅力を感じています。ゲームを通して身につけた継続力・思考力を、仕事の成長にもつなげていきたいと考えています。

(株)東京菱光
コンクリート
田中 優衣



2024年8月から、転職をして、この会社に入社しました。

前職とは異なる分野で力仕事もあり、初めは戸惑うことが多かったのですが、知識や技術が身に付くにつれて理解が深まり、今では楽しみながら業務に取り組んでいます。できなかった作業も段々とできるようになってきて、日々やりがいや成長を感じられています。

今後は、まずコンクリート技士の資格を取ることを第一の目標として、しっかりと知識を取り入れ、もっと職場で役に立てるように努力していきたいです。

普段はあまり出掛けませんが、たまに水族館に行き、自由に泳ぐ魚たちを眺めることが好きです。お土産コーナーで、いつも大きなぬいぐるみを買うかどうかの葛藤をしています。

三多摩アサノ
コンクリート(株)
栗原 佑弥



私は令和7年入社の新人社員です。私がこの業界に興味を持ったきっかけは、大学時代に所属していた研究室の先輩方が弊社に入社されており、そのご縁から求人のお話をいただいたことです。学生時代にインターンとして生コンクリート工場を見学した経験もあり、その際の雰囲気やものづくりの奥深さが印象に残り、入社を決意しました。

弊社の先輩方は皆さん明るく親切で、工場内の雰囲気もとても良く、日々安心して仕事に取り組んでいます。所属する試験課の先輩方はもちろん、部署を越えて多くの方から声を掛けていただき、試験課の視点だけでなく、さまざまな現場の知識を学べる環境に恵まれていると感じています。

今後は、まず試験課の業務を一つひとつ確実に身に付け、ミスのない仕事を心掛けたいと考えています。また、試験課以外の業務にも積極的に関心を持ち、将来的にはコンクリート技士の資格取得にも挑戦したいです。

(株)東京菱光
コンクリート
山田 健人



弱電関係の下請けメーカーで8年勤務した後、2024年4月に当社へ入社しました。

父が同じ業界に勤めていることもあり、今振り返ると、「コンクリート」という言葉の人よりも多く耳にしていたと思います。前職に従事している頃から日増しに当業界への関心が強くなり、勇気を出して面接を受けました。入社して、早いもので1年10ヶ月が経とうとしています。

自分は試験室での品質管理の部署に所属しており、わからないことが多いながらも、先輩社員の皆様にご指導いただきながら、日々、プラント内や出荷先の現場にて業務に勤めています。ワークライフバランスが叫ばれる昨今、自分なりの働き方の努力で資格や知識を多く身につけ、諸先輩方に追いつけるよう、日々邁進していく所存です。

	(出荷数量)		(引合、成約、契残)	
	2026/1月(実績)	2月(想定)	2026/1月(実績)	
	前年比	前年実績比	前年比	前年比
大型	142,880 m ³ 87.7%	150,000 m ³ 93.1%	引合 130,210 m ³ 49.1%	
小型	18,652 m ³ 95.8%	20,000 m ³ 96.7%	成約 122,910 m ³ 53.8%	
計	161,532 m ³ 88.6%	170,000 m ³ 93.5%	契残 3,778,010 m ³ 117.6%	

